

あら川の桃産地提案書

☆ 紀の川市で桃農家になりませんか ☆

募集人数：1名程度（U I ターン就農）

就農までの流れ

就農相談
募集期間
2ヶ月間

実践研修：あら川の桃トレーニングファームでの実践
研修 就農支援センターなどで座学受講
1年～2年

就農準備

独立自営
就農！！
研修終了後

桃の栽培ポイントを実践研修で指導します。



あら川の桃トレーニングファーム
JAわかやま紀の里地域本部、紀の川市農林振興課、
あら川の桃部会、那賀振興局農業水産振興課



あら川の桃部会農家の指導のもと実地研修

求める人材

- ★健康で農業に対して熱い思いがある方。
 - ★地域に溶け込み、交流ができる方。
 - ★年齢が49歳以下での就農が望ましい。
 - ★紀の川市に居住される方。
 - ★就農に対して家族の理解や協力が得られる方。
 - ★研修終了後は、あら川の桃部会に加入される方。
- ※研修受け入れは面談等により決定します。（募集人数：1名程度）

お問い合わせ先

JAわかやま 紀の里地域本部 営農部 和歌山県紀の川市打田1414番地

T E L : 0736-77-0810 F A X : 0736-77-0377

E-mail: eino-300@ja-Wakayama.or.jp

先輩研修者の就農物語

あら川の桃部会トレーニングファームに参加

あら川の桃部会農家での実践研修（2年）

就農

様々な仕事についていた中で、桃収穫のアルバイトをきっかけに、「手塩にかけた作物が育つことにやりがい」を感じた。
桃山地区の桃は「あら川の桃」のブランド名で全国的に名が知られている。作業に携わる中で、農家の高齢化や後継者不足に直面している現状を知った。「こんなに美味しい桃を作る人がいなくなるとは・・・。」自分に何か出来ないか探る中で、桃栽培の後継者を育成する「Aわかやま紀の里地域本部プログラム「トレーニングファーム」に参加。農家に教わりながら、土づくりや摘花・摘果など一連の作業を2年間、じっくり学んだ。
研修後、地元農家から約150本の桃の木が植わる桃山地区の畑約50アールを借り受けた。試行錯誤しながら栽培に取り組んでいる。
「少しでも美味しい桃を作りたい。農業はきっちりやれば成果となって返ってくる。努力が報われるよう頑張りたい。」

様々な支援

●資金確保支援

- 1.新規就農者育成総合対策
(就農準備資金：2年以内)
(経営開始資金：3年以内)
内容：就農前後の所得安定のため、
150万円以下／年を交付
- 2.産地受入研修支援事業（県単）
内容：就農研修中の所得安定のため、
30万円以下/年を交付

●住居確保

空家等移住相談

紀の川市ってこんなところ

和歌山県紀の川市は、大阪市内から車で約1時間の距離にあり、都市部から日帰りで行くことが出来る交通アクセスに恵まれた地域です。農業が盛んで特に果樹栽培では一年を通じて多彩な品目を栽培しています。
中でも、桃栽培は西日本有数の産地で紀の川市桃山町で栽培する桃は、「あら川の桃」として全国的に有名なブランド桃です。

桃農家の経営モデル

※所得を保証するものではありません。

品目：桃

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
剪定		摘蕾	摘果	袋かけ		収穫					

経営面積	売上高	支出合計	所得
100 a	1,500万円	800万円	700万円

(経営モデル)

- ★ 10 a 当たり収量
1.8トン
- ★ 10 a 当たり労働時間
250時間
- ★ 年間総労働時間
2,500時間
- ★ 家族労働 2 人
季節雇用2人(延べ20日)